

平成30年度 輸出に取り組む事業者向け対策事業に係る海外販売促進活動報告書

平成31年 1月31日

農林水産省
食料産業局長 殿

JA全農インターナショナル
米穀・園芸部

平成30年度における輸出に取り組む事業者向け対策事業の海外販売促進活動について、下記のとおり報告いたします。

対象国・地域 : 台湾

実施期間 : 平成30年 12月24日(月)～ 12月30日(日)

「台湾全農青果物フェア」

1. 『台湾全農青果物フェア』について

(1)期間 : 平成30年12月24日(月)～12月30日(日)

(2)場所 : SOGO (忠孝店/中レキ店)
シティスーパー(復興店/板橋店/天母店/三越天母店/新光三越A11店)
微風広場(微風広場店/南京店)

(3)出席者 : JA愛知経済連 園芸部青果販売課 久野課長
JA蒲郡市 販売センター 小林センター長
JA蒲郡市 営農支援課 鈴木氏
全農インターナショナル台湾 野末所長

(4)内容 : 台湾の複数店舗(9店舗)において、愛知県蒲郡市のみかんの販売促進を行った。
幅広く消費者に知ってもらう為、範囲の広い店舗で開催した。出荷数量は下記のとおり。

★愛知県蒲郡産みかん 2S 646ケース
3S 6ケース



2. 台湾全農青果物フェア実施内容

- (1) 期間 : 平成30年12月24日(月)～12月30日(日)
- (2) 場所 : SOGO (忠孝店/中レキ店)
シティスーパー(復興店/板橋店/天母店/三越天母店/新光三越A11店)
微風広場(微風広場店/南京店)
- (3) 内容 : 各店舗プロモーターを各1名配置し、試食宣伝販売を実施した。
試食の効果は多大で、みかんの販売金額は大幅に伸びた。



3. 所感

愛知県産のみかんについては酸味と甘みのバランスもよく、試食効果が絶大であり、販売順調であった。日本産農産物の質と美味しさを十分理解していただいたと認識している。台湾については、日本産農産物が既に多く入っているマーケットではあるが、産地訴求と試食を併せることによって、「みかん」という商品以上のアピール力が発揮できるものと認識。

4. フェアの成果及び今後の進め方

試食から販売という流れは定着しつつある。台湾において来年度以降は、さらに産地色を出したフェアを開催し、商品キャラクター以上の付加価値を創出する。